

主題を読み取る

今回は、物語の主題を読み取って学習します。

主題とは、作者がその文章を通じてつたえようとしている、中心となることからのことです。主題は、文章全体を通じて表されるもので、「〜ということ。」というように、物語の中で直接主題が表されることはほとんどありません。物語全体をよく読んで、作者が何をつたえようとしているのかを読み取っていくひつようがあります。

主題は、次の方法で読み取るようにしましょう。

〈物語の主題の読み取り方〉

- (1) 登場人物の言葉や行動に注目して読み取る。
- (2) 登場人物の気持ちや考え方に注目して読み取る。
- (3) 物語のあらすじや、とくに心ごころでできごとに着目して読み取る。

作者がつたえたいことからは、登場人物の言葉や行動、気持ちや考え方にこめて表現されることが多いよ。



名前

学習日

月
日

では、次の文章を読んで、主題を考えてみましょう。

ともえは、ちよつとしたことですが、気が強くてわがままなともえが夕子は少し苦手だった。

ある日の帰り道、夕子はともえを見かけた。男の子とめめているようだったので心配してかけつけると、

「ごめんなさい。」

と、男の子があやまる場所だった。あとでともえに話を聞いたところ、男の子のけた小石がねこにぶつかりそうになったのを注意したのだということだった。

(ちゃんと注意ができるなんてえらいな。)

と夕子は思った。そして、ともえのやさしさを知らなかったというもの、ともえのことが前よりもすきになっていった。

——の部分の、夕子の気持ちの変化に注目しましょう。夕子ともえのやりとりを通じて、作者は何をつたえたかったのでしょうか。

この文章の主題は、「あるできごとを通じて知った友達のやさしさ」ということだと考えられますね。

← 次のプリントにつづく

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは
こちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

運動会では、クラスたいこうの大なわとびがある。ほかのクラスはまじめに練習して、五十回以上んだクラスもあるということだ。しかし、あかりのクラスは練習に熱心ではなく、十回もとべたことがなかった。その日も、男の子たちはふざけているし、女の子たちはおしゃべりをしていて、ちっともまじめに大なわとびの練習をしていなかった。

① 「みんな、どうしてまじめにやらないの！」

① 学級委員の島村さんがとうとうおこり出した。島村さんの目にはなみだがたまっている。あかりは、まじめに練習しようとしなかった自分はずかしく思った。「一回だけ、みんなしんけんにとんでみようよ。」倉田君が言った。みんながうなづく。「それっ」というかけ声に合わせて、みんながジャンプする。

一回、二回、三回……十回をこえた。新記録だ。十一回、十二回と、数はどんどんふえていく。みんな顔を真っ赤にしてしんけんにとんでいる。二十回、三十回をこえて、三十七回目、だれかがなわにひっかかってしまったようだ。「あーっ！」というため息がもれる。でも、三十回以上もとべて、みんなうれしそうだ。

20

15

10

5

1 ——— ①とありますが、このあとみんなはどうしましたか。また、どのような気持ちになりましたか。

それまで () に練習していなかったけれど、 () にとんでみることにした。すると、新記録を出せて () と思った。

2 この文章の主題は何ですか。次の中から一つえらび、記号を○でかこみましょう。

- ア くだいな記録をたっせいすることのすばらしさ。
- イ みんなで力を合わせて何かをやりとげるよろこび。
- ウ けんかになっても本音を言い合うことの大切さ。
- エ 学級委員としてクラスをまとめていくつらさ。



登場人物の行動や気持ちに注目して主題を読み取る。ここでは、大なわとびの練習の様子を通して、作者が何を考えたのかを考えるようにしよう！



Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう！



くわしくはこちら！

Z会の本



かわいい小学生になろう